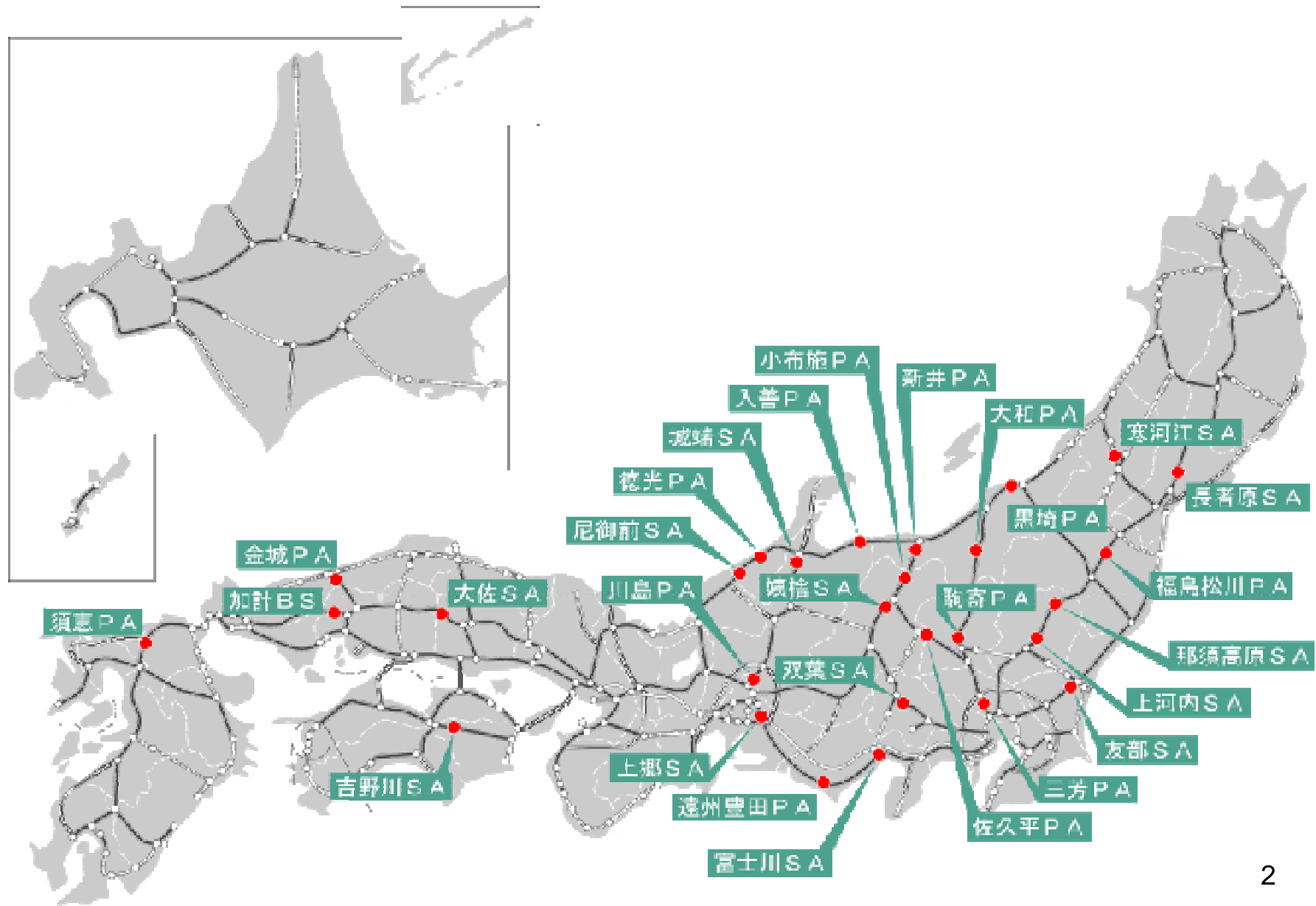


スマートIC社会実験結果

1. 社会実験概要 ~ 箇所網図 ~



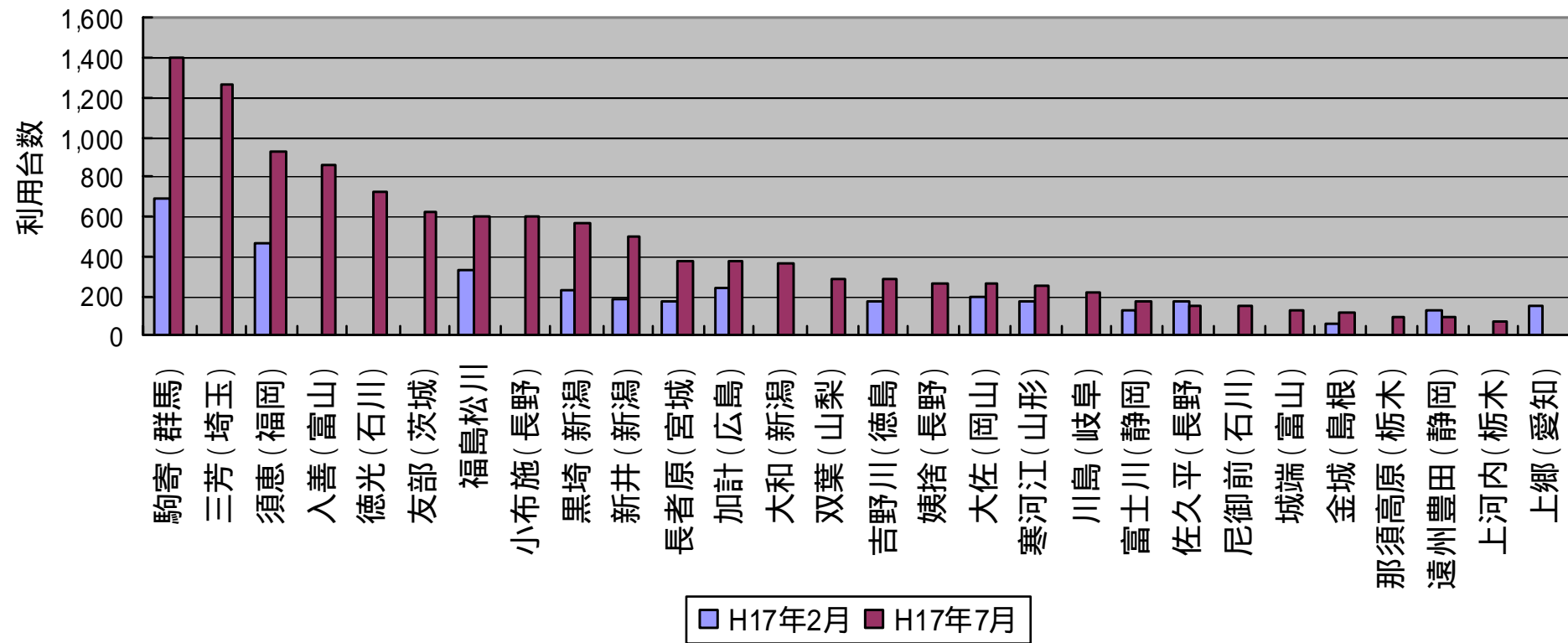
1. スマートIC社会実験概要～実施諸表～

(H17.10.1現在)

	SA・PA名称	都道府 県名	路線名	実験期間		利用時間 (時)	利用方向				利用台数	
				開始	終了		上り		下り		H17年2月	H17年7月
							入	出	入	出		
1	福島松川PA	福島県	東北道	2004/12/27	2006/3/31	6 ~ 22					330	600
2	長者原SA	宮城県	東北道	2004/12/24	2006/3/31	6 ~ 22					170	380
3	寒河江SA	山形県	山形道	2004/12/20	2006/3/31	6 ~ 22					170	250
4	友部SA	茨城県	常磐道	2005/7/1	2006/3/31	6 ~ 22					-	620
5	三芳PA	埼玉県	関越道	2005/4/17	2006/3/31	24hr利用					-	1,260
6	上河内SA	栃木県	東北道	2005/4/22	2005/9/25	7 ~ 19					-	70
7	那須高原SA		東北道	2005/4/22	2005/9/25	7 ~ 19					-	90
8	駒寄PA	群馬県	関越道	2004/12/10	2006/3/31	6 ~ 22					690	1,400
9	双葉SA	山梨県	中央道	2005/4/25	2006/3/31	6 ~ 22					-	290
10	佐久平PA	長野県	上信越道	2004/12/18	2006/3/31	6 ~ 22					180	150
11	小布施PA		上信越道	2005/4/24	2006/3/31	24hr利用					-	600
12	姨捨SA		長野道	2005/4/21	2006/3/31	6 ~ 20					-	260
13	黒埼PA	新潟県	北陸道	2004/12/24	2006/3/31	24hr利用					220	560
14	大和PA		関越道	2005/6/1	2006/3/31	6 ~ 22					-	860
15	新井PA		上信越道	2005/1/11	2006/3/31	6 ~ 20					-	720
16	入善PA	富山県	北陸道	2005/4/25	2006/3/31	24hr利用					-	150
17	城端SA		東海北陸道	2005/6/20	2005/9/19	6 ~ 22					-	360
18	徳光PA	石川県	北陸道	2005/4/11	2006/3/31	24hr利用					190	500
19	尼御前SA		北陸道	2005/6/1	2005/8/31	6 ~ 22					-	130
20	川島PA	岐阜県	東海北陸道	2005/4/16	2005/8/21	9.5 ~ 21					-	210
21	富士川SA	静岡県	東名高速道路	2005/1/11	2005/9/25	6 ~ 20					130	180
22	遠州豊田PA		東名高速道路	2005/1/11	2005/8/31	6 ~ 20					130	90
23	上郷SA	愛知県	東名高速道路	2004/10/15	2005/1/31	7 ~ 20					150	-
24	大佐SA	岡山県	中国道	2004/12/18	2005/11/13	6 ~ 22					200	260
25	加計BS	広島県	中国道	2004/12/18	2006/3/31	6 ~ 23					240	370
26	金城PA	鳥根県	浜田道	2004/12/18	2006/3/31	6 ~ 22					60	110
27	吉野川SA	徳島県	徳島道	2004/10/31	2006/3/31	6 ~ 22					170	290
28	須恵PA	福岡県	九州道	2004/12/18	2006/3/26	24hr利用					460	920

2. 利用台数の状況～ 全体の状況～

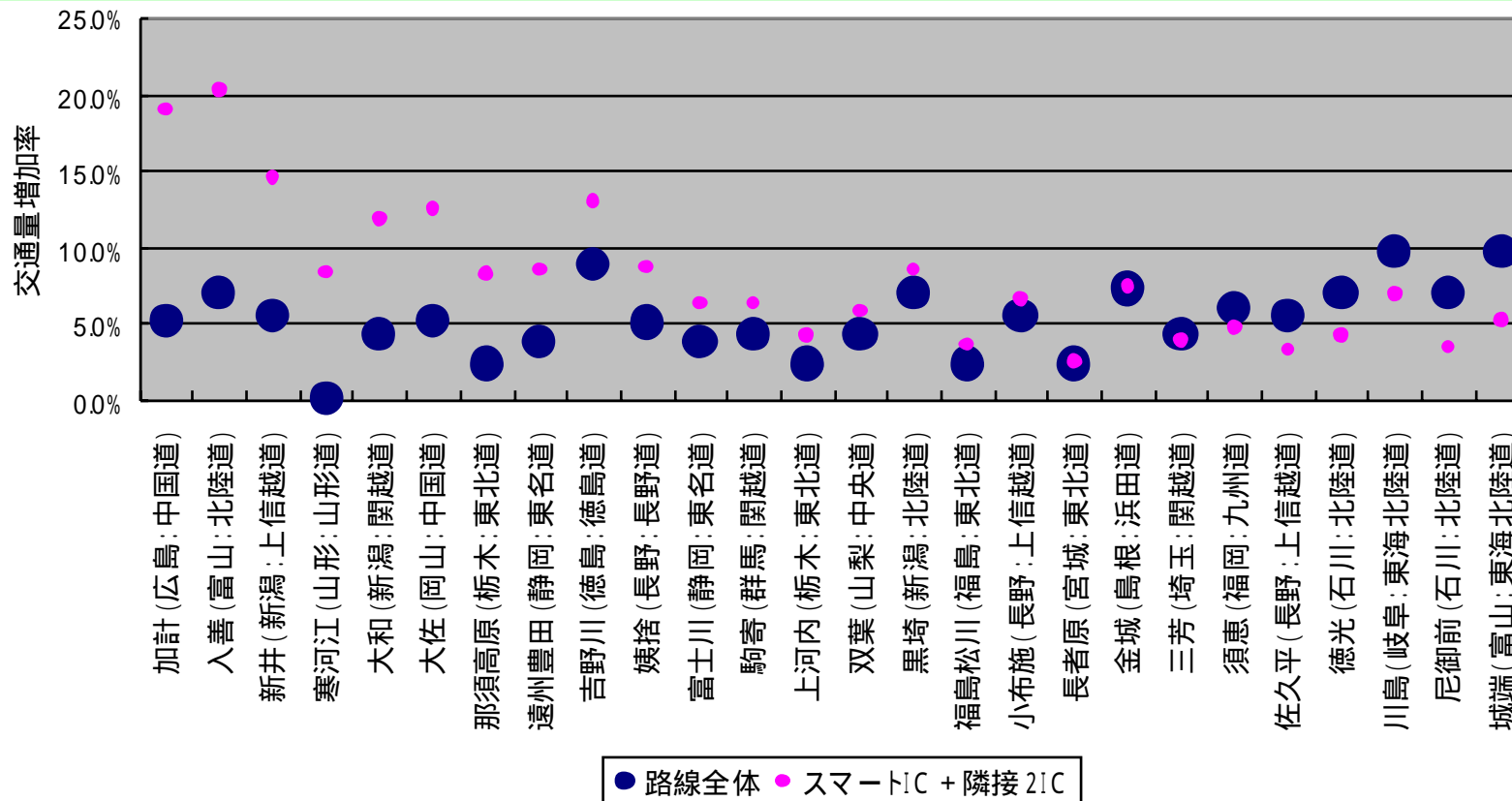
H17年2月と7月の両方のデータがある箇所のうち、ほとんどの箇所で実験を通じて利用台数が増加傾向



2. 利用台数の状況 ~ 誘発交通 ~

19ヶ所/26ヶ所のスマートICで、スマートIC + 隣接2ICでの利用交通量の増加率が路線全体での増加率よりも大きい

→スマートIC設置による誘発交通がみられる



1 交通量増加率の定義

スマートIC + 隣接2IC = 実験中(H17.6)のスマートIC + 隣接2ICの日平均利用交通量 / 実験前(H16.6)の隣接2ICの日平均利用交通量

路線全体 = 実験中(H17.6)の路線全体の日平均利用交通量 / 実験前(H16.6)の路線全体の日平均利用交通量

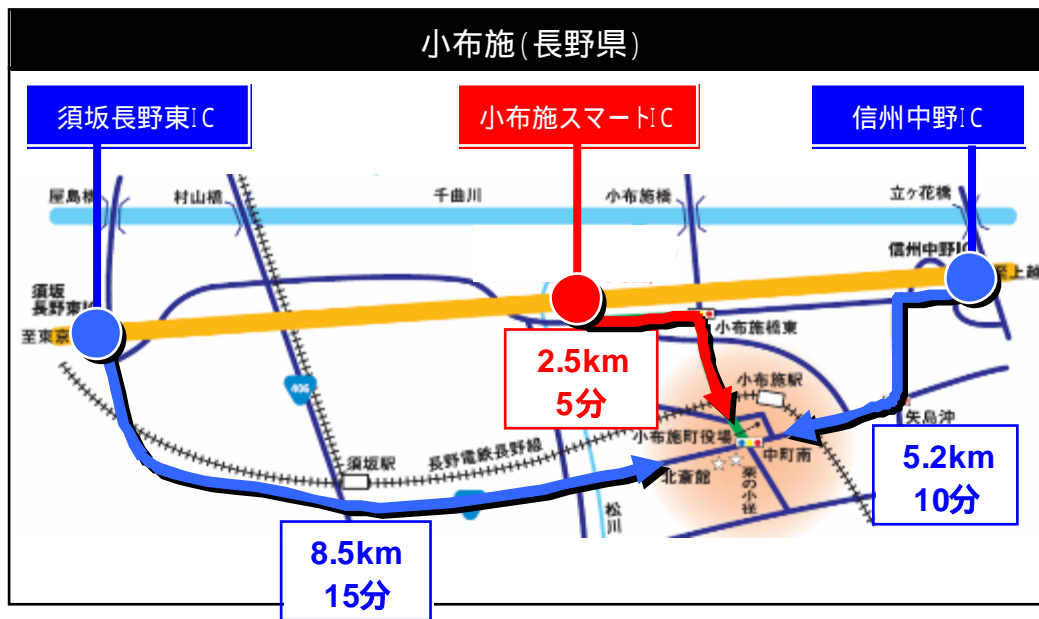
2 友部、上郷はH17.6が実験期間中でないためデータなし

3. 効果事例 ~ 所要時間短縮 ~

通勤時間帯や観光地での時間短縮効果事例が多い

交通ルート of 新たな選択肢ができたことによる交通分散化

距離が遠くても混雑回避によるアクセス時間の短縮

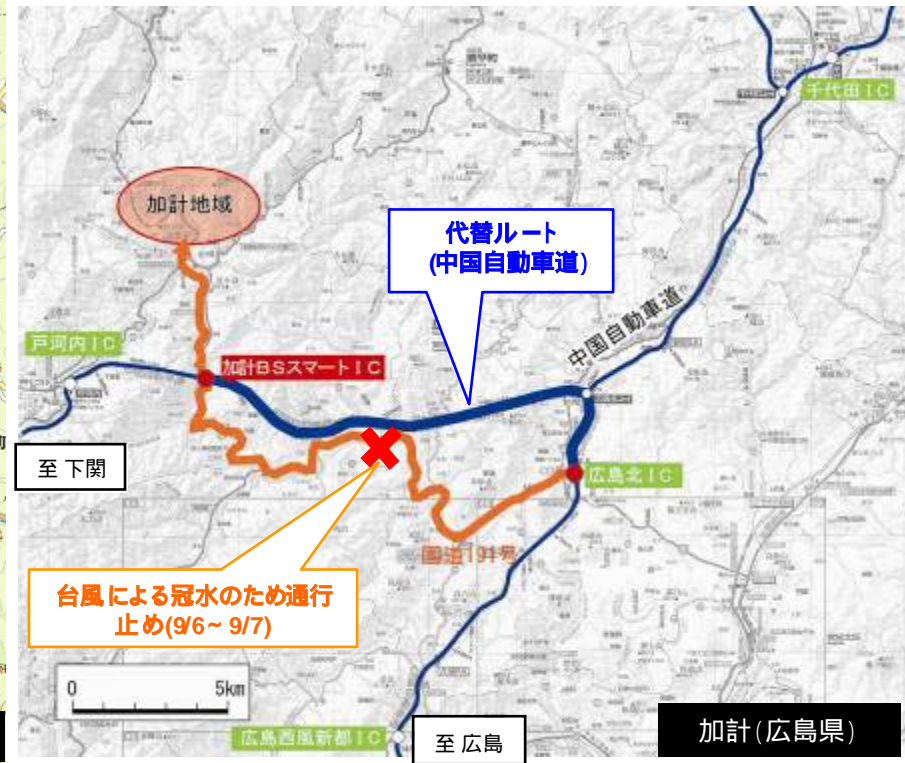


3. 効果事例 ~ その他の効果 ~

医療面



防災面



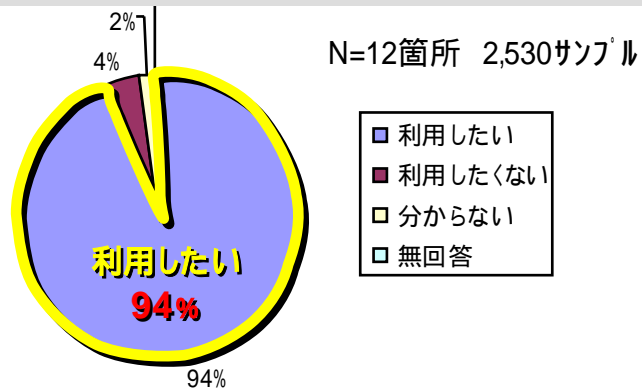
4. 課題等 ~ スマートICの利用意向 ~

IC利用者の9割、地元住民の5割、SA・PA利用者の5割が今後もスマートICを利用したいと回答。地元企業の8割がスマートICの利用を奨励

→スマートIC利用に対する地域の要望は大きいことがわかる。

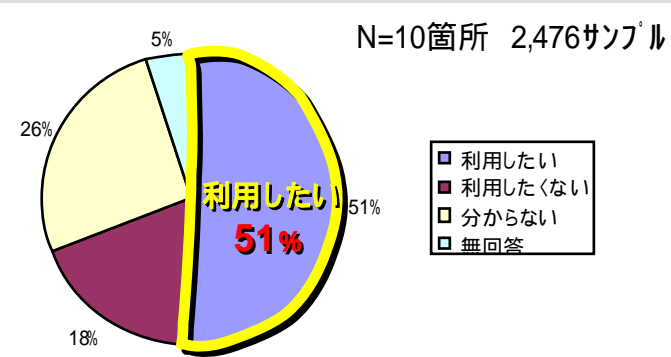
IC利用者

これからもスマートICを利用したいと思いますか？



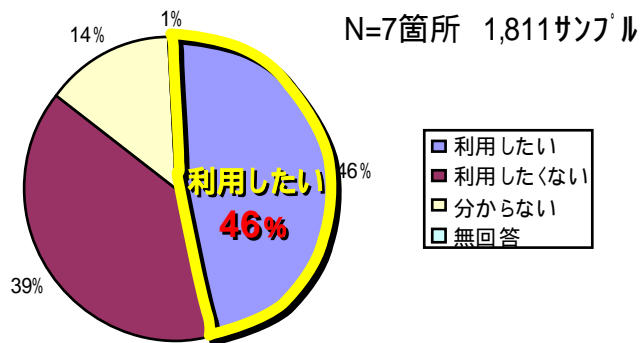
地元住民

これからもスマートICを利用したいと思いますか？



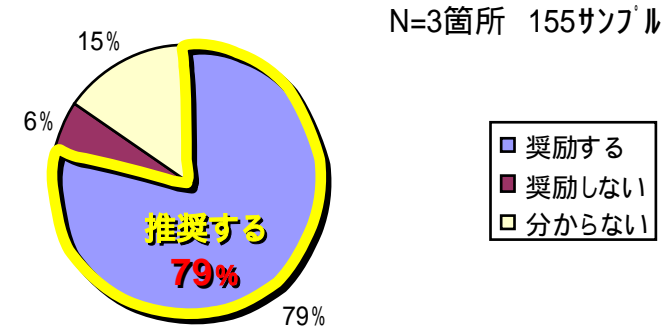
SA・PA利用者

今後スマートICを利用したいと思いますか？



地元企業

今後あなたの会社では会社が所有する車両に対して、スマートICを使用することを推奨しますか？



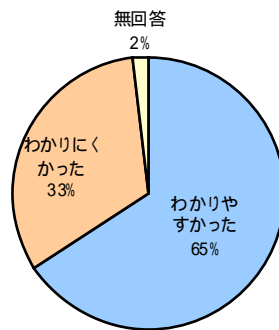
4. 課題等 ~ 誘導・案内面 ~

約7割の人がわかりやすかったと回答

わかりにくい理由としては、高速道路区域内・外ともに『案内看板の数が少ない』、『案内看板がわかりにくい位置にある』が多い

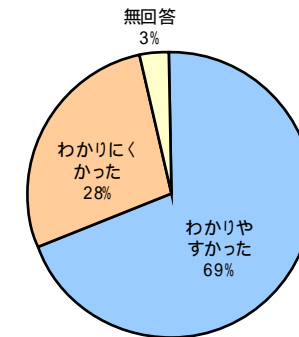
その他、高速道路区域内では『誘導路の位置がわかりにくい』が多く、高速道路区域外では『不慣れであった』が多い

高速道路とスマートIC間の誘導案内はわかりやすかったですか？(高速道路区域内)



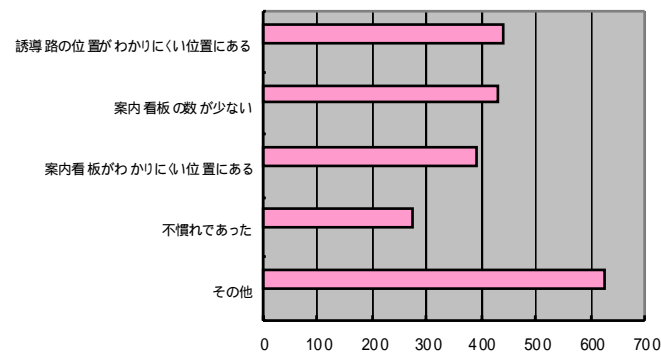
N=12箇所
回答数 2501

一般道路とスマートIC間の誘導案内はわかりやすかったですか？(高速道路区域外)



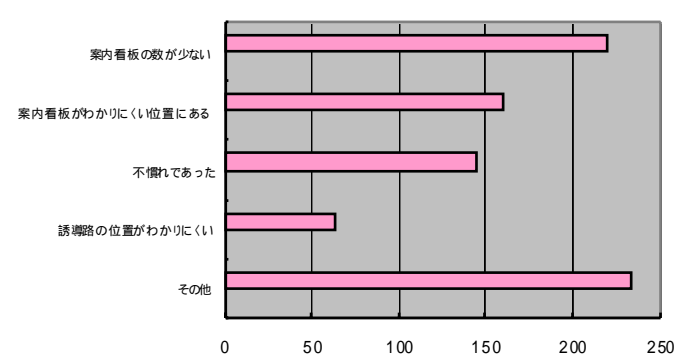
N=10箇所
回答数 1924

わかりにくかった理由は何ですか？(高速道路区域内)



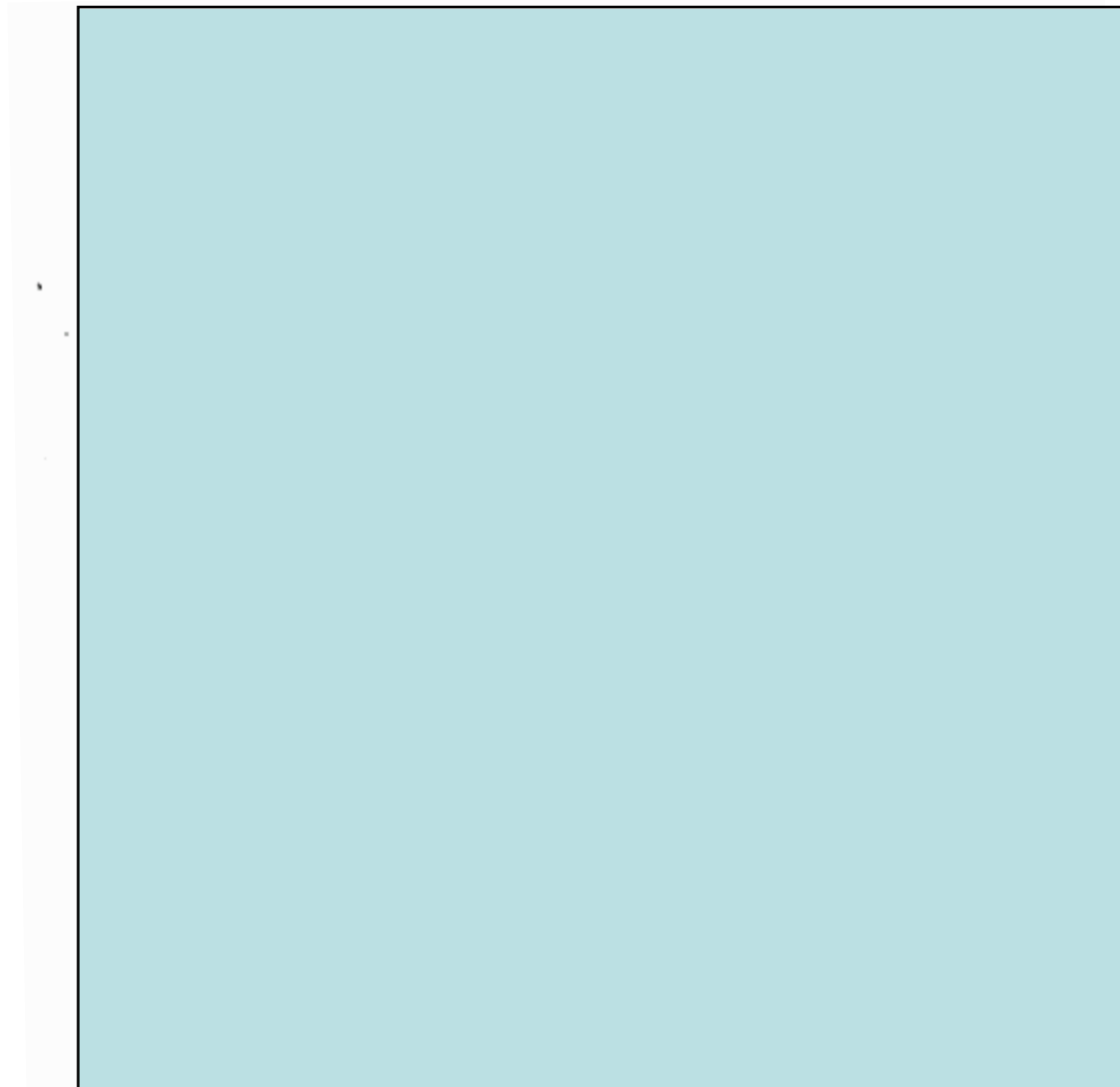
N=12箇所
回答数 2159

わかりにくかった理由は何ですか？(高速道路区域外)



N=10箇所
回答数 821

5. 新聞記事



西日本新聞 平成17年9月28日 朝刊36面